

## 論文の内容の要旨

### 1 申請者

防衛大学校 高畠 太

### 2 論文題目

同盟の経済学的分析—公共財・外部性の観点から—

### 3 論文の内容の要旨

本研究は、国際的な安全保障環境において同盟がどのような機能を果たしているのかを国家間の協力と対立の観点から明らかにすることを目的とした。対象とする期間及び同盟等は、主に 1991 年以降の北大西洋条約機構（NATO）、Quad 及び米国とインド太平洋地域各国との同盟とした。分析手法として経済学的手法を用い、特に国家間相互依存関係をモデル化するため公共財及び外部性の概念を活用した。

第 1 部では、各加盟国が生産する防衛財が同盟内で公共財として機能することを仮定する同盟の経済学の理論に基づく分析を行った。具体的には、防衛財が相互に補完的／代替的な公共財であると仮定したモデルを用い、計量分析によりいずれのモデルが現実には適合するのかを検証した。分析の結果、NATO 及び Quad のいずれにおいても、時間の経過とともに各国が生産する防衛財が補完的性質を持つようになったことが明らかになった。また、NATO 及び米国とインド太平洋地域各国との同盟においては、同盟国内に駐留する米軍兵力が、米国と同盟国が生産する防衛財の相互の補完性を高めることも示された。

第 2 部では、米国とインド太平洋地域各国との同盟を対象として、貿易が国家間の相互依存を促進あるいは競争を激化させると仮定したモデルを用い、貿易が国家の安全に対し正／負の外部性を発生させたのかを明らかにすることを目指した。分析の結果、インド太平洋地域の米国の同盟国においては、貿易が国家の安全に対し正の外部性を発生させたため国家の安全が向上し、それゆえ、防衛と貿易が代替的關係にあったことが明らかになった。また、貿易が国家の安全に対し発生させる外部性の性質は、貿易相手国が同盟システムに組み込まれた国であるか否かにより異なることも示された。

以上の結果から、本研究は、同盟は各加盟国が生産する防衛財に補完的な公共財としての性質を付与する機能を有し、それゆえ、各加盟国が他の加盟国の防衛財の生産量の増加に対し自国の防衛財の生産量を増加させる協調国として行動するよう動機づけると結論付けた。また、同盟は貿易が国家の安全に対し発生させる正の外部性を増加させる機能を有し、安全保障上の国家間協力に加え、経済・貿易上の協力をも促進すると結論付けた。

### 4 キーワード

「同盟」、「公共財」、「外部性」、「補完」、「代替」、「貿易」